

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-378-0480

年度	令和元年度		
施設名	新潟市文化財センター 他1施設	所管部・課	文化スポーツ部 歴史文化課
施設の設置目的	埋蔵文化財及び有形民俗文化財を保存し、活用を図ることにより、市民の関心及び理解を深め、もって市民文化の向上に資するため設置する。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	R元.7.
歳入	64,786	正職員	12	修正日	
歳出	160,796	非常勤	6	評価日	R2.7.3

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H28実績	H29実績	H30実績	R1目標					R1結果
1	市民	埋蔵文化財の保存・活用	・発掘調査報告書の刊行数(冊)	4	5	4	5	5	本発掘調査・試掘確認調査の報告書を刊行して発掘調査を着実に完了します。報告書刊行資料について台帳を作成して取蔵保管し、展示・公開等の活用に努めます。	・本発掘調査・整理作業の実施 ・発掘調査報告書刊行 ・文化財センター年報の刊行 ・上記考古資料の台帳作成及び取蔵保管	一部民間委託を取り入れ、4冊の発掘調査報告書と文化財センター年報を刊行し、目標を達成しました。	B:達成
2	市民	文化財センター入館者、各種イベント参加者数の増	・文化財センター入館者(人) ・文化財センター外講座等(人) ・遺跡発掘調査現地説明会(人) ・遺跡発掘調査速報会(人) ・各種出前講座(人) ・館外展示(人)	13,627	14,350	17,221	16,400	12,194	文化財センターで多様なテーマの企画展や講演会、現地説明会等を開催するほか、学校や地域に向いて講座等を開催して、文化財に対し関心・理解を深めていただけるよう努めます。	・企画展および関連講演会の開催 ・文化財センター外で行う各種講座等 ・遺跡発掘調査現地説明会 ・遺跡発掘調査速報会 ・各種出前講座 ・館外展示	新型コロナウイルスの影響により団体利用キャンセルなどがあり、2月から入館者数が伸びず、目標未達成となりました。	C:未達成
3	市民	国史跡古津八幡山遺跡への理解・認知度の向上	・企画展・フォトコンテスト(回) ・企画展関連講演会・講座(回) ・企画展展示解説(回) ・確認調査現地説明会(回) ・各種募集イベント(回) ・その他イベント(回)	48	48	38	29	26	国史跡古津八幡山遺跡の認知度を高めるために各種イベントを開催するとともに、企画展や講演会等を開催し、史跡の理解を深めることに努めます。	各種イベントを行い古津八幡山遺跡を広く知っていただくとともに、関連する企画展や講演会等を行い史跡の理解を深めるための調査研究を行います。	古津八幡山遺跡の確認調査では、大形竪穴住居の構造や周辺の状況について多くの知見が得られました。調査成果については、現地説明会で調査現場の一般公開を行う等、広く情報発信を行いました。また、復元竪穴住居の茅葺屋根の修繕の様子についても一般公開を行い、遺跡についての理解を深めてもらいました。 企画展や講演会、イベント等についても、自然災害等の影響により一部中止があり目標未達成となりましたが、弥生の丘展示館の来館者数は49,200人と、オープンした平成27年度に次ぐ多さとなりました。	C:未達成

取り組みについて（目標設定の考え方など）	総合評価（評価を踏まえた課題分析・方向性など）
<p>文化財センターは、古津八幡山遺跡・弥生の丘展示館と共に、埋蔵文化財及び有形民俗文化財を保存し、活用を図ることにより、文化財に対して市民の関心・理解を深めてもらえるよう、広く市民に文化財に関する情報を発信していきます。</p> <p>埋蔵文化財については、発掘調査を行い、発掘調査報告書を刊行します。さらに考古資料の再整理・台帳整備を行い、資料の適切な保存管理に努めます。また、有形民俗文化財についても台帳整備を進め的確な保存を行います。</p> <p>また、埋蔵文化財等に関する調査研究を行い、研究成果をご覧いただけるよう「砂丘と遺跡ー阿賀北の砂丘上の遺跡ー」・「小学生向け展示 いかがたのれきし」・「成熟した縄文文化ー縄文晩期の角田山麓 御井戸遺跡からー」と題した企画展を開催します。同時に、市民ボランティアとの協力・連携を図り、展示解説など市民からの要望に対応できる施設運営を目指すとともに、学校や公民館への出前講座や市政さわやかトーク宅配便の利用促進に取り組みます。</p> <p>弥生の丘展示館では国史跡古津八幡山遺跡の理解を深めるための調査研究を行うとともに、3本の企画展をはじめ各種イベントを開催し、国史跡古津八幡山遺跡の認知度を高めるように努めます。また、北東域の史跡指定地外の確認調査を実施し、遺跡の広がりや内容把握を行い、史跡を適切に保存するとともに調査成果を広く発信します。</p>	<p>公共事業に伴う大規模発掘調査が重複する中で、民間委託を進めるなど効率的に事業を進め、発掘調査報告書・文化財センター年報を目標どおり刊行しました。</p> <p>新型コロナウイルス等の影響があり、文化財センター入館者数等の活用事業参加者数は目標指標に達しませんでした。引き続き考古資料・有形民俗文化財の的確な保存管理を行うとともに、これらの文化財に対して関心・理解を深めていただけるように、各種企画展・発掘調査速報会・館外展示を行うほか、様々な出前講座に取り組みます。</p> <p>また、今年度も引き続きボランティアとの協働で「大人の土器づくり講座」や「武田家住宅での七夕がたり」、新たに「ボランティア作品展」を開催しました。今後も様々な形で市民ボランティアが活躍できる場を提供し、協力・連携を図っていきたくと考えています。</p> <p>史跡古津八幡山遺跡では、昨年度に引き続き確認調査を実施し、大形竪穴建物の構造解明などの成果がありました。確認調査を継続し、史跡追加指定を視野に入れて、史跡の適切な保存を行っていきます。</p> <p>文化財センター・弥生館の普及・活用事業に関しては、選択と集中を進めより魅力のある内容にできるように、事業内容の検討を行っていきます。</p>